

コスモインサート工法（不断水弁・プラグ本体挿入工法）

概要と特長

インサート工法は、主として既設管や管の移設等を対象に、断水せずに既設管から分岐管を取り出し、敷設する工法です。弁、プラグ本体、バタフライ弁等、使用目的に応じ種類も豊富です。当社では止水と分岐を同時に行う工法や、分岐をどの方向からも自由に取り出すことができる工法など多種の工法を開発しています。特に大口径、高水圧管にも施工できる当社の工法は世界に誇る日本水道界の技術革新といえるものです。

使用目的

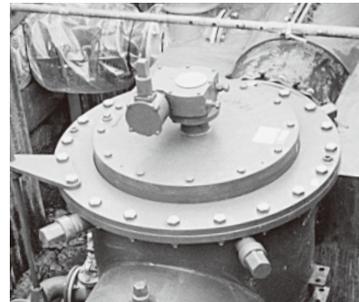
1. 既設管に仕切弁がなく、維持管理が困難な場合。
2. 建造物（橋、鉄道、下水道等）の設置や道路、または河川の拡幅に伴い、切り回しをする場合。
3. 断水区域を最小限にしたい場合。
4. 区画整理等に基づき、水道管の移設が必要な場合。
5. 通水管の廃管決定で管にプラグ本体を取り付ける場合など。

種類

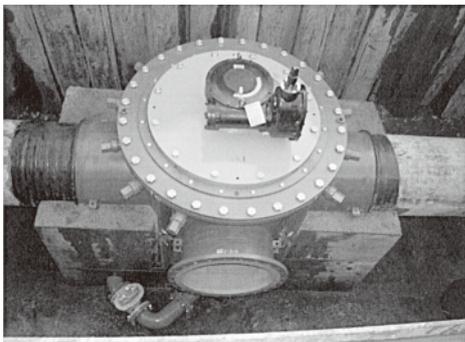
- ① プラグ3型 [不断水簡易弁挿入工法]
- ② プラグST型 I P ST（ST式閉止装置）
- ③ コスモソフト
- ④ COバルブ [不断水切換弁挿入工法]
- ⑤ インサーバルブ（スルース弁型）
- ⑥ インサーバタフライ弁 I B
- ⑦ インサー切換弁 I R
- ⑧ インサープラグ I P
- ⑨ インサープラグ分岐型 I D
- ⑩ インサー緊急遮断弁



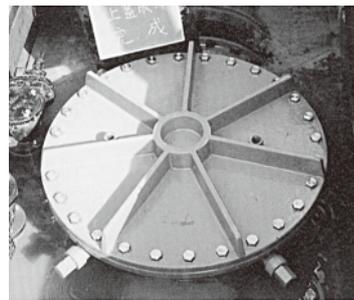
インサーバルブⅣ（スルース弁型）



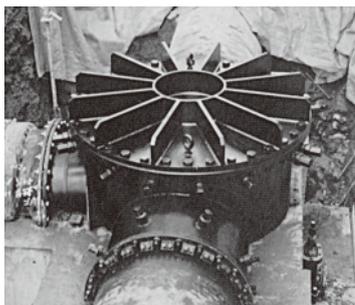
インサーバタフライ弁 I B



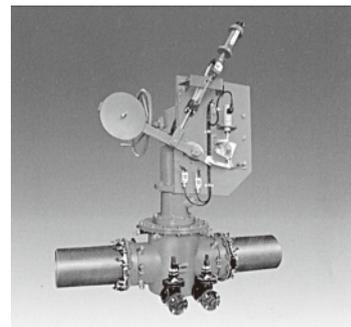
インサー切換弁 I R



インサープラグ I P



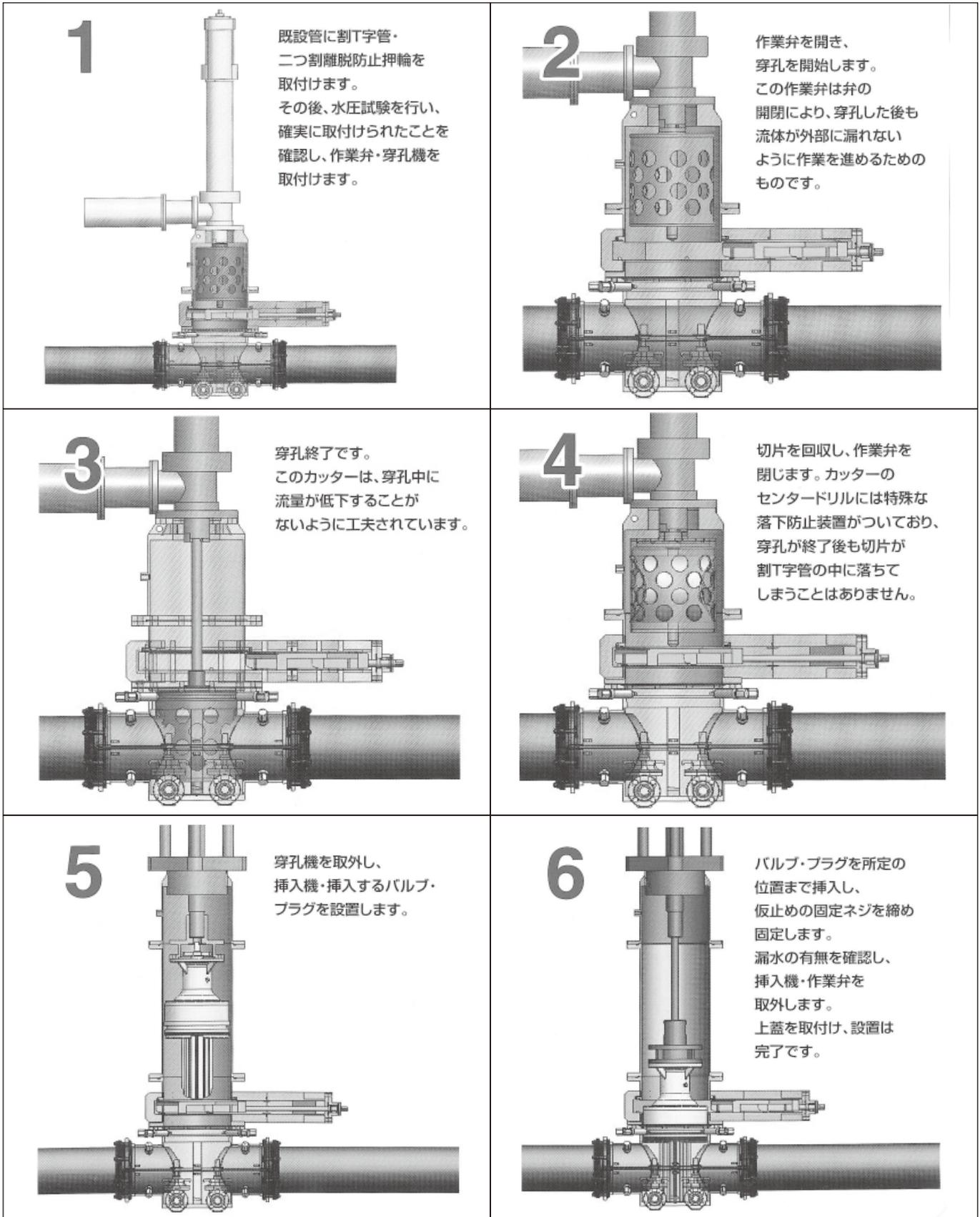
インサープラグ分岐型 I D



インサー緊急遮断弁

※価格につきましては弊社までお問い合わせ下さい。

原 理



※プラグ3型、COバルブ、シャットマンを除く。